

末道康之先生

先生のプロフィール

【出身地】兵庫県

【専攻】刑法 比較刑法 フランス語圏刑法

【近年(2~3年)の担当科目】

刑法各論B アドバンスト演習

(2022年9月1日~2023年8月31日の期間は
研究休暇)

【末道康之ゼミ】

【今の専門科目に興味をもったきっかけを教えてください。】

大学1年次の刑法の授業で刑法の理論的な面に関心を持ち、恩師である宮澤浩一先生の刑法のゼミ(3・4年次)を選択しました。

【ゼミを実施するにあたって心掛けていることは何ですか。】

ゼミでは参加者が積極的に議論をして理解を深めることが重要だと考えていますので、全員が気持ちよく議論に参加できる環境を整えることを心がけています。

【学生時代に熱中していたこと、力を入れていたことは何ですか。】

大学入学時から大学院に進学して研究者になることを考えていたので、勉強はしっかりとしていました。また、ピアノクラブというサークルにも参加していました。

【学生の皆さんに一言お願いします。】

ここ3年ほど新型コロナウイルスの影響もあり、日本全体が内向きになっているように思います。ただ、世界的な諸問題を解決するためには、諸外国との友好的な関係を維持・発展させることが重要です。そのためには、個々人が他者や異なった価値に対して寛容であること、多様性を認めることが肝要です。南山の学生には、国際的な視野で、社会を構成する全員が差別なく心豊かに生活できる環境を整えるためにも、公正で成熟した社会の実現に貢献してもらいたいと思います。